



第5次西宮市総合計画

地域別 アウトライン

NISHINOMIYA CITY 5th COMPREHENSIVE PLAN
2019→2028



目次

目的と位置付け	1
地域別アウトライン記載事項（見方）について	2
■ 本庁北西地域	3
■ 本庁北東地域	5
■ 本庁南西地域	7
■ 本庁南東地域	9
■ 鳴尾地域	11
■ 瓦木地域	13
■ 甲東地域	15
■ 塩瀬地域	17
■ 山口地域	19

[目的と位置付け]

●本市は都市としての成熟化の時代を迎え、これからのまちづくりは、行政と地域住民が手を携えながら、それぞれの役割を果たし、これまで以上にきめ細かく取り組んでいくことが求められます。

●市域は、南北に19.1km、東西に14.3kmにわたり、面積は約100km²で、それぞれの地域において魅力的なまちの個性を有しており、解決すべき課題に違いが見られます。そのため、総合計画の策定過程では、地域ごとに広聴会等を開催し、住民の皆さん同士の議論を通じて取り組むべき課題や方向性を検討してきました。

●これらを踏まえ、本資料では、行政としての地域ごとの課題認識と現時点で予定している取組をまとめました。また、地域特有の課題や取組だけでなく、市民の関心が高い課題・取組については、全地域に共通して記載しています。

●地域分けについては、本庁地域は面積・人口規模等を勘案して四つに区分した上で、従来から支所を設置している鳴尾、瓦木、甲東、塩瀬、山口の5地域と合わせて、9地域に区分しています。

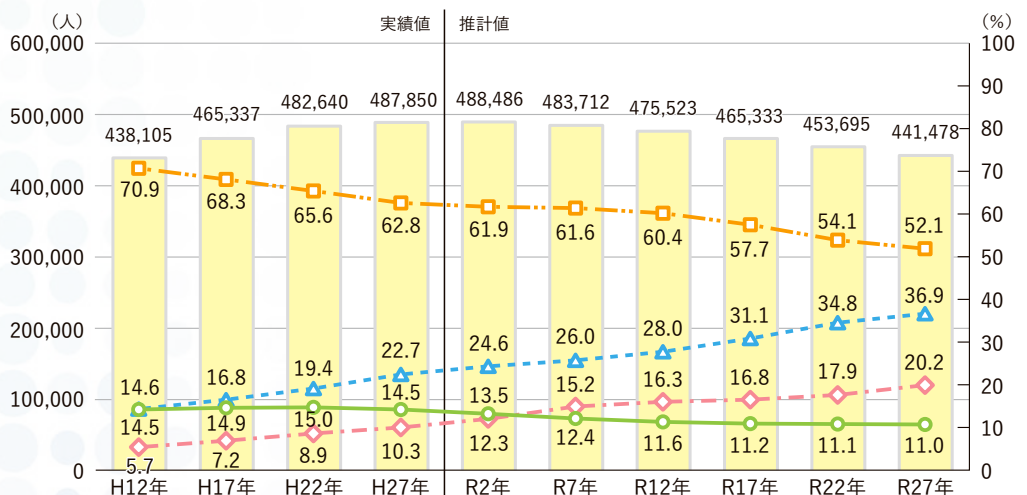
●本庁地域については、JR東海道本線で南北に区分した上で、南部については、津門・今津を本庁南東地域、それ以外を本庁南西地域に区分しています。北部については、地形的に分かりやすいものとして、夙川を境界にして、東西に区分しています。

●今後、これらの地域ごとの課題認識をより深め、取組内容を具体化していきます。



西宮市地域区分図

[全市] 総人口及び年齢別人口比率の推移



〔地域別アウトライン記載事項（見方）について〕

各地域の地図を添付し、実施予定の主な取組のうち、図示可能なものを表示しています。

コミュニティ、子育て、教育、福祉、医療などの分野について記載しています。

各地域の概要説明を記載しています。

3つのカテゴリーに区分して地域の課題を記載しています。

道路、交通、まちづくり、防災などの分野について記載しています。



各地域の将来推計人口について、グラフを用いて記載しています。

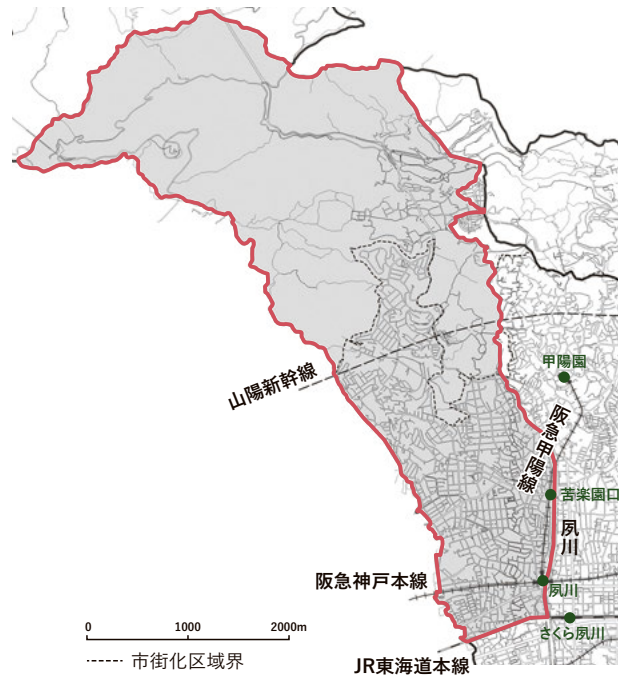
景観、産業、環境、芸術・文化などの分野について記載しています。

平成27年国勢調査結果、庁内各種資料を基に、
・世帯や住宅等に関して特徴的な地域
・自治会加入状況、保育需要、高齢世帯など、地域に関係する各種指標に関して、特徴的な地域について記載しています。

分野ごとに取組を記載しています。
なお、各取組に関する具体的な事業については、今後、検討が必要なものも含んでいます。

本庁北西 地域

HONCHO-HOKUSEI



地域の現状

まちの状況

- ◆ 阪急夙川駅周辺には商業施設が集積しており、苦楽園口駅周辺には個性的な雰囲気のある商業地が形成されています。
- ◆ 阪急夙川駅北西部には閑静で風格ある住宅地が、苦楽園などの山麓部には緑豊かな住宅地が形成されています。
- ◆ 鷲林寺地区には田園風景が広がっています。
- ◆ 地域東側に接している夙川は、桜の名所で知られており、木々の緑と水辺が一体となった憩いの場として親しまれています。

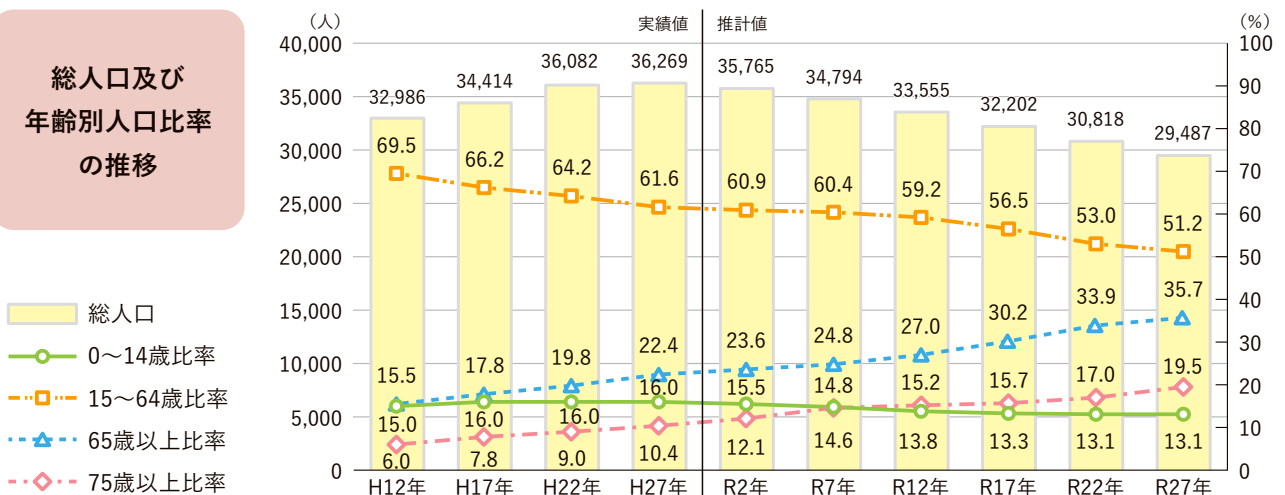
地域社会の現状

- ◆ 持ち家の比率が7割程度、戸建住宅の比率が5割程度となっています。
- ◆ 保育需要率が増加傾向にあります。
- ◆ 高齢者夫婦のみの世帯の比率が高くなっています。
- ◆ 公共交通の利便性が低い地区があり、特に市街化区域内の山麓部では、バス交通の充実を求める声が高まっています。

人口の見通し

地域の人口は、今後、減少傾向が続く見込みです。年少人口(0～14歳人口)の割合が最も高い地域で、高齢化率(65歳以上人口の占める割合)は全市より低く推移します。

総人口及び 年齢別人口比率 の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 支所機能がなく行政と地域の連携が希薄なため、新たな枠組みづくりが必要です。
- 保育所の受入れ枠が不足しており、対策が必要です。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

- 土砂災害の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- バス交通が不便な地域があり、対策が必要です。
- 市街化調整区域の土地利用のあり方についての検討が必要です。

3 まちの魅力を高めるために

- 緑豊かで趣のあるまちなみ保全への取組が必要です。
- 夙川河川敷緑地の桜の保全と育成が必要です。

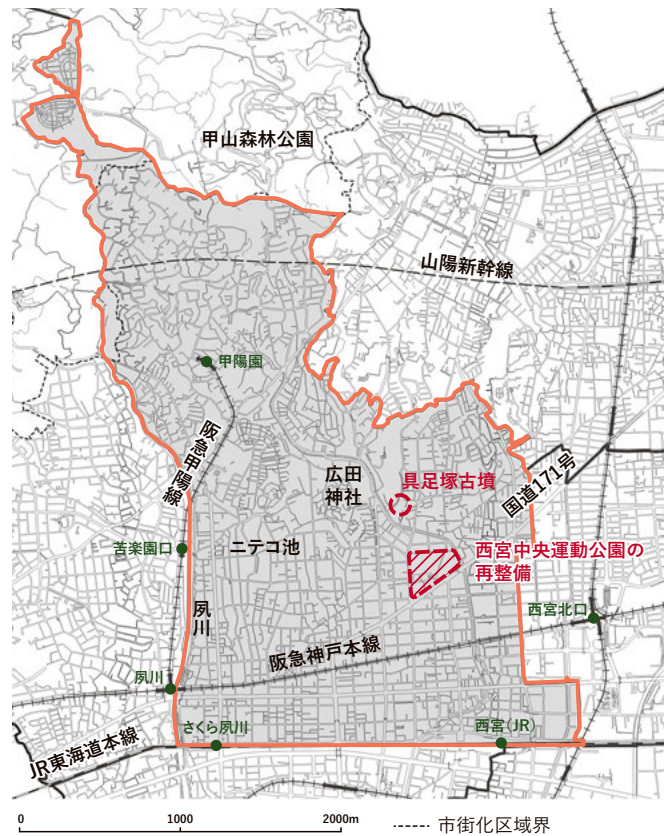
予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	<ul style="list-style-type: none">□地域自治組織のあり方について検討●地域コミュニティ拠点施設の整備
子育て	<ul style="list-style-type: none">●保育所等の整備促進
福祉	<ul style="list-style-type: none">□地域ケア会議の推進
防災	<ul style="list-style-type: none">●【国・県】砂防事業、【国・県】治山事業の促進□防災力強化に向けた地域コミュニティの充実□災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
公園	<ul style="list-style-type: none">●夙川河川敷緑地の桜の保全と後継樹の植栽

本庁北東 地域

HONCHO-HOKUTO



地域の現状

まちの状況

- ◆ 甲陽園地区などの山麓部や夙川沿いには緑豊かな住宅地が、ニテコ池周辺には閑静で風格と落ち着きのある住宅地が形成されています。
- ◆ 広田神社の森は、まちなかの貴重な緑の空間となっています。
- ◆ 地域西側に接している夙川は、桜の名所で知られており木々の緑と水辺が一体となった憩いの場として親しまれています。
- ◆ 体育館、陸上競技場などのスポーツ施設を有する西宮中央運動公園があります。

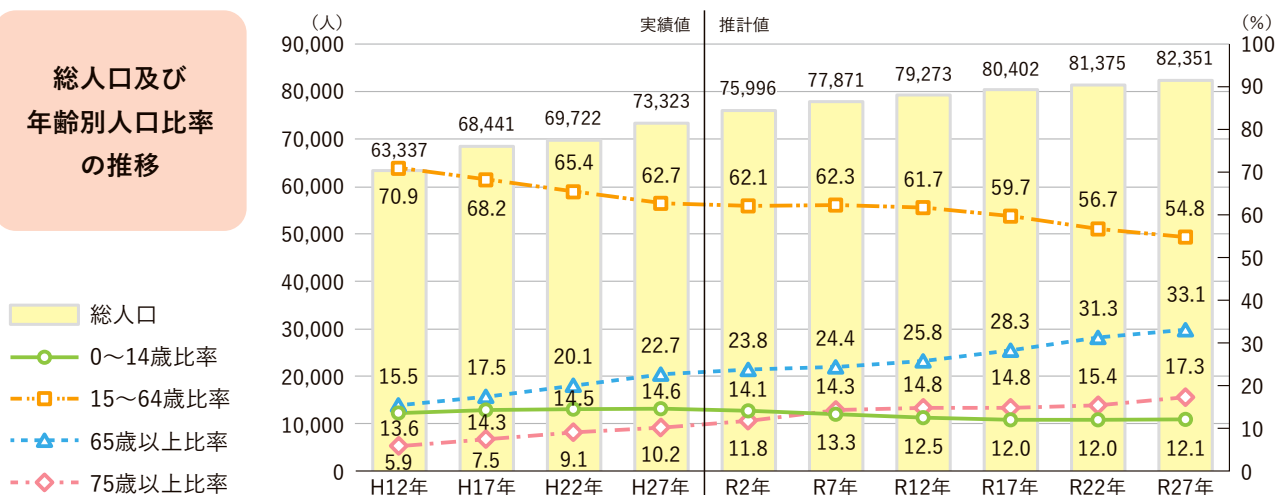
地域社会の現状

- ◆ 保育需要率が増加傾向にあります。
- ◆ 公共交通の利便性が低い地区があり、特に甲陽園地区など地域北部ではバス交通の充実を求める声が高まっています。

人口の見通し

地域の人口は、今後も増加傾向が続く見込みです。全市と比べて年少人口及び生産年齢人口(15～64歳人口)の割合が高く、高齢化率は全市より低く推移します。

総人口及び 年齢別人口比率 の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 支所機能がなく行政と地域の連携が希薄なため、新たな枠組みづくりが必要です。
- 保育所の受入れ枠が不足しており、対策が必要です。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

- 土砂災害の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- バス交通が不便な地域があり、対策が必要です。

3 まちの魅力を高めるために

- 緑豊かで趣のあるまちなみ保全への取組が必要です。
- 西宮中央運動公園施設の老朽化対策が必要です。

予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	□地域自治組織のあり方について検討
子育て	●保育所等の整備促進
福祉	□地域ケア会議の推進
防災	□防災力強化に向けた地域コミュニティの充実 □災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
公園	●新体育館や新陸上競技場を始めとする西宮中央運動公園の再整備の推進
文化・芸術	●史跡「具足塚古墳」等文化財の整備・活用

本庁南西 地域

HONCHO-NANSEI



地域の現状

まちの状況

- ◆ 阪神西宮駅やJR西宮駅の周辺に、商業・業務施設や行政機関が集積しています。
- ◆ 国道43号以南には酒造業等の産業が集積していますが、住宅や店舗も混在しています。
- ◆ 臨港線などの幹線道路沿いには、沿道型の商業施設が立地しています。
- ◆ 西宮神社の森は、まちなかの貴重な緑の空間となっています。
- ◆ 地域北西部を流れる夙川は、木々の緑と水辺が一体となった憩いの場として親しまれており、自然海浜である御前浜とともに身近な水辺の空間となっています。
- ◆ 西宮浜には、流通関係の産業が集積しています。

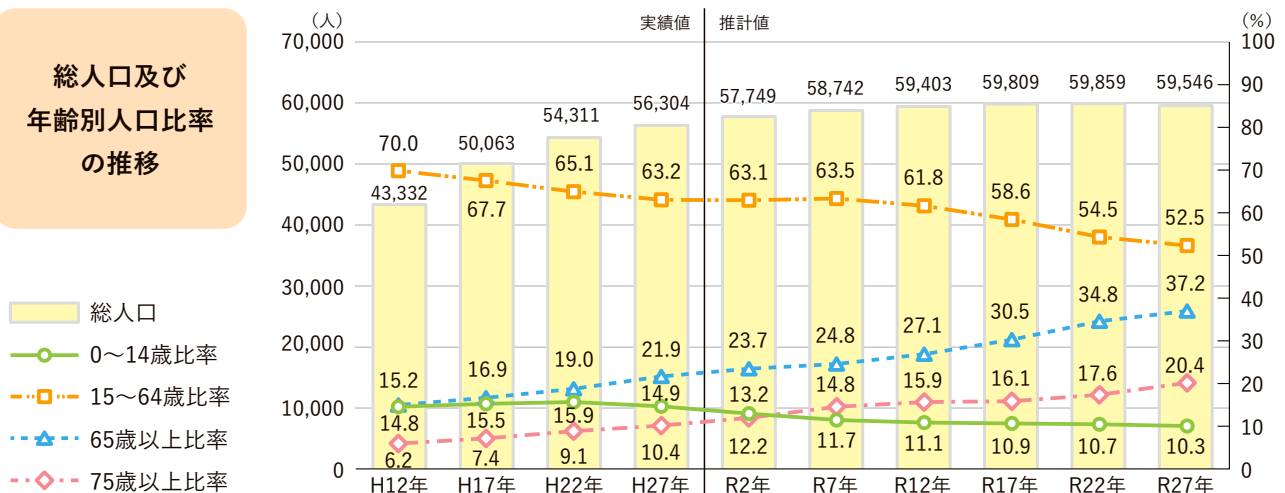
地域社会の現状

- ◆ 共同住宅の比率が8割程度となっています。
- ◆ 自治会加入率がやや低くなっています。
- ◆ 西宮浜小学校及び西宮浜中学校で児童数、生徒数が減少しています。

人口の見通し

地域の人口は、令和12年頃まで徐々に増加し、その後、おおむね横ばいで推移する見込みです。高齢化率は全市とほぼ同様ですが、生産年齢人口の割合は全市より高く推移します。

総人口及び 年齢別人口比率 の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 支所機能がなく行政と地域の連携が希薄なため、新たな枠組みづくりが必要です。
- 児童数・生徒数の減少への対策が必要です（西宮浜小・中学校）。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

- 津波災害の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- JR西宮駅南西地区では、卸売市場の再生整備を含む都市核にふさわしいにぎわいと魅力ある都市空間の形成が必要です。
- 阪神西宮駅及び市役所周辺では、行政、商業・業務など都市機能の集積を図るとともに、交通ターミナル（発着+乗換え・乗り継ぎ）機能の充実が必要です。

3 まちの魅力を高めるために

- 緑豊かで美しいまちなみの保全・形成への取組が必要です。
- 自然海浜が残っており、渡り鳥の飛来地（夙川河口）でもある御前浜の継続的な保全活動が必要です。
- 西宮浜総合公園の整備を契機とした、スポーツ・遊び・散策など、憩いやにぎわい空間の創出と美しい水辺景観の形成が必要です。
- 地場産業である酒造業を活用した地域活性化策が必要です。

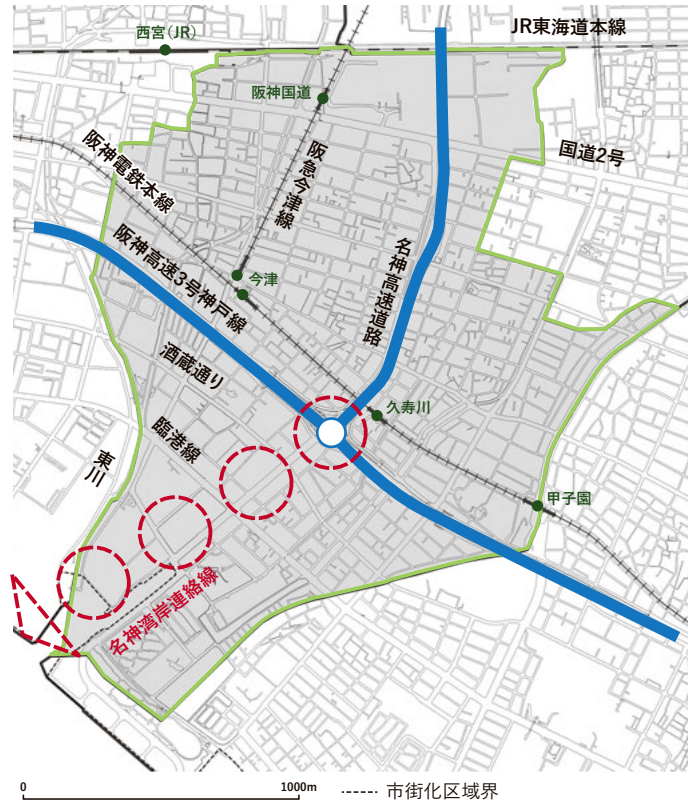
予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	□地域自治組織のあり方について検討
教育	●小中一貫教育の推進（西宮浜地区）
福祉	□地域ケア会議の推進
防災	●【県】津波防災インフラ整備事業の促進 □防災力強化に向けた地域コミュニティの充実 □災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
まちづくり	●JR西宮駅南西地区市街地再開発（卸売市場再生整備）の推進 ●阪神西宮駅北側地区のまちづくりの検討 ●市役所周辺の公共施設の再整備 ●西宮旧港周辺の整備推進
公園	●市民のレクリエーションの場となる西宮浜総合公園の整備推進 ●夙川河川敷緑地の桜の保全と後継樹の植栽
産業	●酒どころ西宮の発信と酒造業の振興を目的とした各種事業の実施
文化・芸術	●史跡「西宮砲台」の整備・活用

本庁南東 地域

HONCHO-NANTO



地域の現状

まちの状況

- ◆ 阪急・阪神今津駅周辺では商業施設が集積しています。
- ◆ 津門地区には、食品関連の工場が立地しており、店舗・工場と住宅が混在している所もあります。
- ◆ 酒蔵通り以南には工場等が立地していますが、住宅や店舗も混在しています。
- ◆ 臨港線などの幹線道路沿いには、沿道型の商業施設が立地しています。

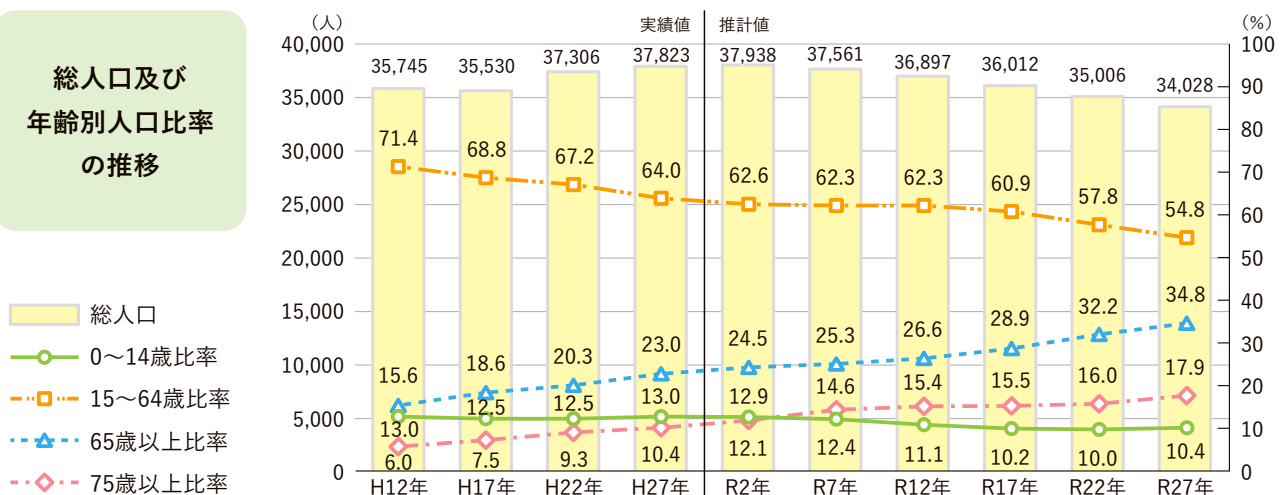
地域社会の現状

- ◆ 共同住宅の比率が7割程度、単独世帯の比率が4割程度、賃貸住宅の比率が5割程度となっています。
- ◆ 高齢者単独世帯の比率が高くなっています。

人口の見通し

地域の人口は、令和7年頃までおおむね横ばいで推移し、その後は徐々に減少する見込みです。生産年齢人口の割合は全市より高く推移します。

総人口及び 年齢別人口比率 の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 支所機能がなく行政と地域の連携が希薄なため、新たな枠組みづくりが必要です。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

- 津波災害の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- 交通の円滑化や災害時の代替機能確保のため、周辺環境や景観に配慮しつつ名神湾岸連絡線の整備を進める必要があります。

3 まちの魅力を高めるために

- 地場産業である酒造業を活用した地域活性化策が必要です。
- 地域特性を生かした緑ある美しいまちなみの創出に向けた取組が必要です。

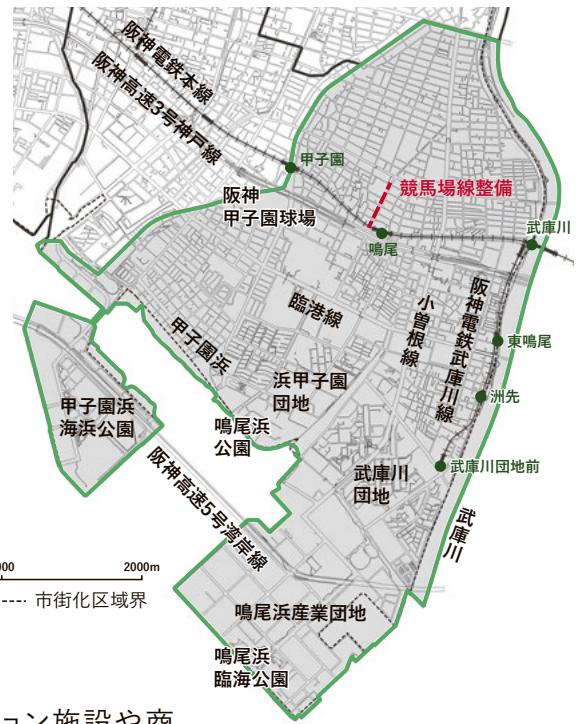
予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	□地域自治組織のあり方について検討
福祉	□地域ケア会議の推進
防災	●【県】津波防災インフラ整備事業の促進（新川水門及び新川東川統合排水機場） □防災力強化に向けた地域コミュニティの充実 □災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
道路	●【国】名神湾岸連絡線整備計画の促進
産業	●酒どころ西宮の発信と酒造業の振興を目的とした各種事業の実施

鳴尾地域

NARUO



地域の現状

まちの状況

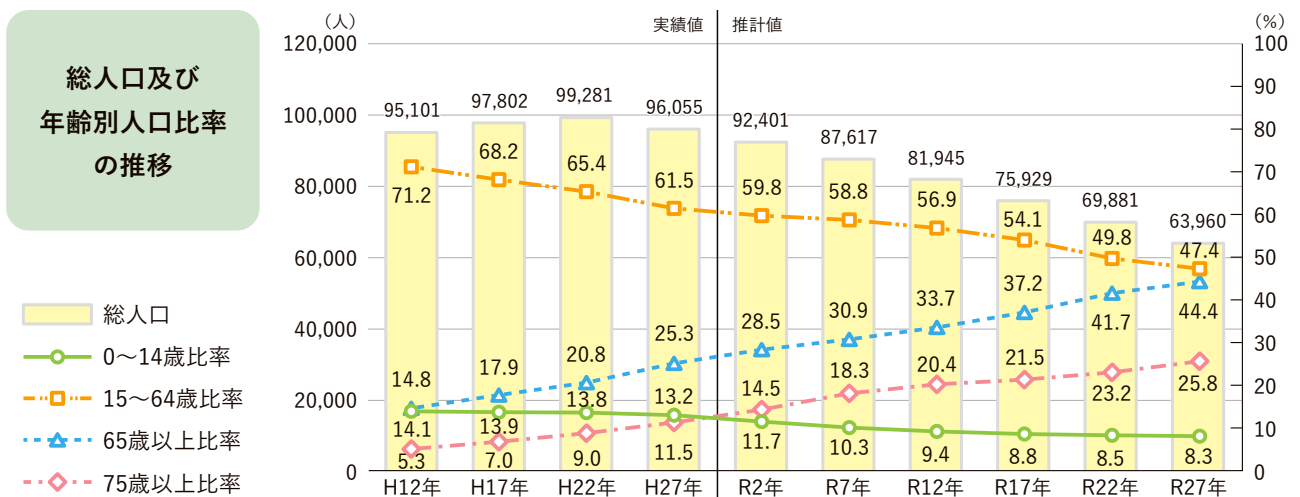
- ◆ 阪神甲子園駅周辺には、スポーツ・レクリエーション施設や商業施設が集積しています。
- ◆ 阪神甲子園駅の北側や甲子園浜に面する地域には、低層主体の住宅地が形成されています。
- ◆ 武庫川団地や浜甲子園団地など、大規模な住宅団地があります。
- ◆ 臨港線や小曾根線などの幹線道沿いには沿道型の商業施設が立地しています。
- ◆ 鳴尾浜には流通関係の産業が集積しています。
- ◆ 地域東側に接している武庫川は、緑豊かで開放的な河川敷緑地を有しており、自然海浜である甲子園浜とともに、身近な水辺の空間となっています。

地域社会の現状

- ◆ 共同住宅の比率が7割程度、賃貸住宅の比率が5割程度となっています。
- ◆ 高齢者夫婦のみの世帯の比率がやや高く、高齢者単独世帯の比率が高くなっています。
- ◆ 児童数、生徒数が減少している地区があります。
- ◆ 狭あい道路の割合が高い地区があります。

人口の見通し

地域の人口は、今後、減少傾向が続く見込みです。年少人口及び生産年齢人口が減少し、高齢化率は全市より高く推移します。



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

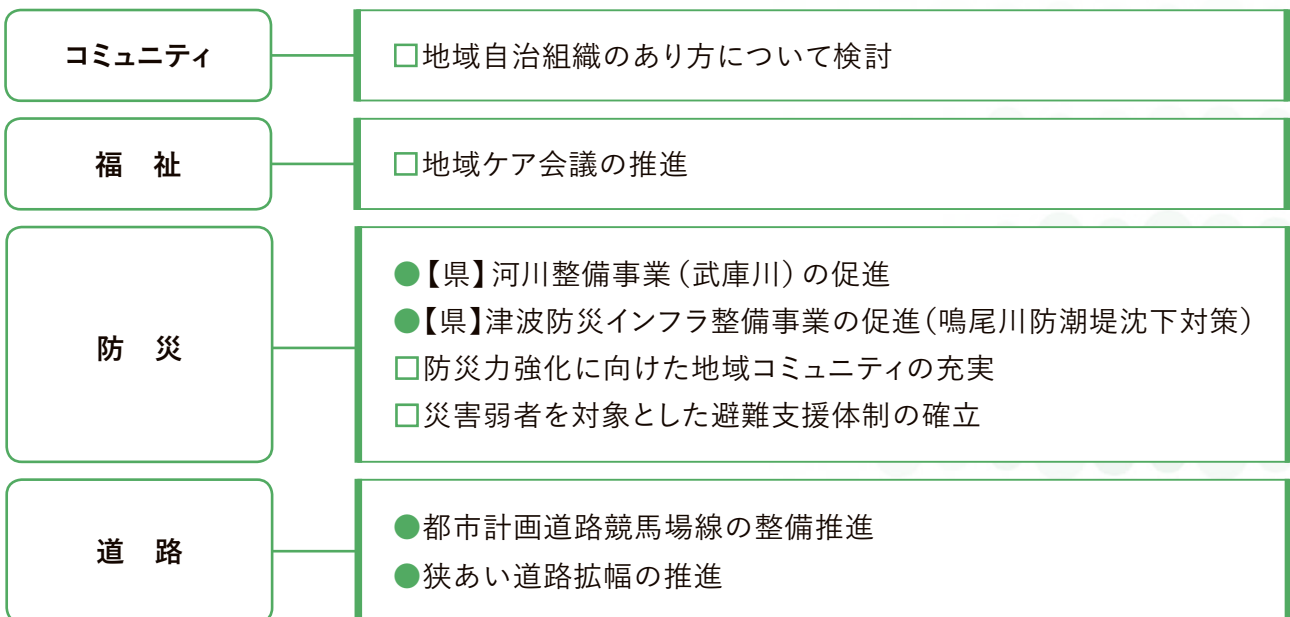
- 河川（武庫川）の洪水の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- 津波災害の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- 狭あい道路の割合が全市平均と比べて高く、改善が必要です。

3 まちの魅力を高めるために

- 自然海浜が残っており、渡り鳥の飛来地でもある甲子園浜の継続的な保全活動が必要です。
- 充実したスポーツ・レクリエーション施設を生かしたまちの魅力向上が必要です。
- 地域特性を生かした緑ある美しいまちなみの創出に向けた取組が必要です。

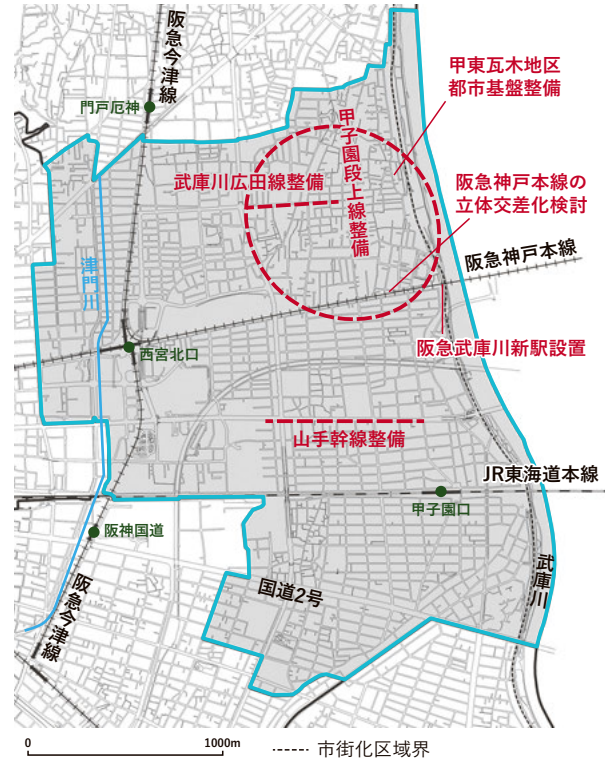
予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組



瓦木地域

KAWARAGI



地域の現状

まちの状況

- ◆ 阪急西宮北口駅周辺には、商業施設、文化施設が集積しています。
- ◆ 阪急西宮北口駅の北東部には、近年、街区の整った住宅地が形成されていますが、その周辺では農地も残っています。
- ◆ JR甲子園口駅周辺には、小規模店舗が集積する商店街が立地しています。
- ◆ JR東海道本線北側には工場が立地しています。
- ◆ 地域東側に接している武庫川は、緑豊かで開放的な河川敷緑地と水辺が一体となり、憩いの場として親しまれています。

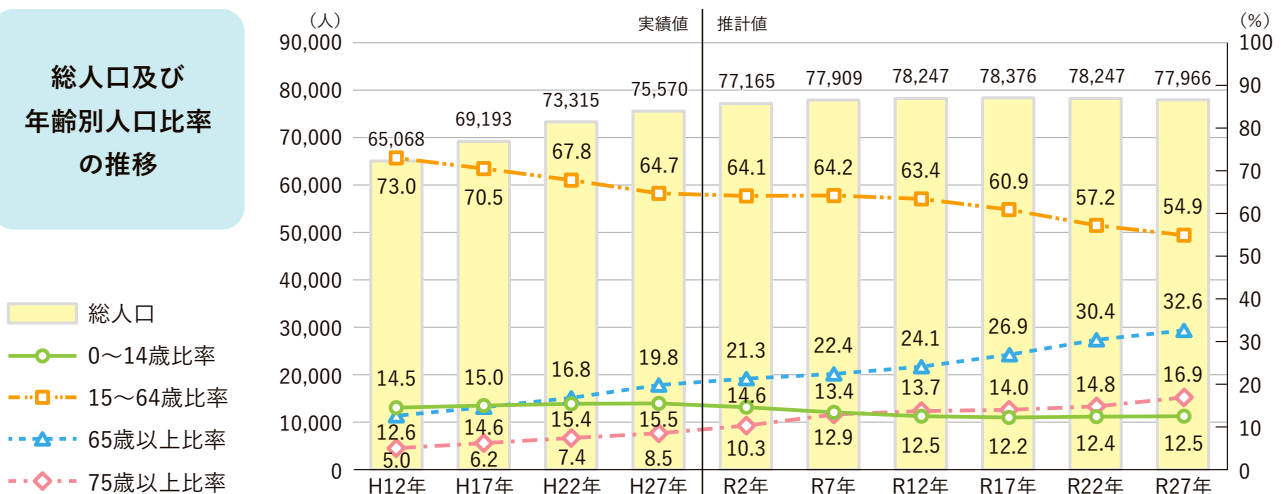
地域社会の現状

- ◆ 共同住宅の比率が7割程度、賃貸住宅の比率が5割程度となっています。
- ◆ 自治会加入率が低くなっています。
- ◆ 公共交通の利便性が低い地区があります。
- ◆ 狭あい道路の割合が高い地区が多くあります。

人口の見通し

地域の人口は、今後、おおむね横ばいで推移する見込みです。全市と比べて年少人口及び生産年齢人口の割合が高く、高齢化率は全市より低く推移します。

総人口及び年齢別人口比率の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 自治会（自主防災組織）が結成されていない地域があります。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

- 河川（武庫川・津門川）の洪水の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- 地域の骨格となる都市計画道路等を整備し、幹線道路のネットワークを形成することが必要です。
- 狭あい道路の割合が全市平均と比べて高く、改善が必要です。
- 公共交通の利便性が低い地域があり、対策が必要です。
- 都市基盤整備とまちづくりの一体的な検討及び実施が必要です。
- 都市基盤が弱い地区については、地域ニーズに沿った事業の検討や支援が必要です。

3 まちの魅力を高めるために

- 市内で比較すると公園が少なく、改善に向けた取組が必要です。
- 都市農地の適切な保全・活用が必要です。
- 地域特性を生かした緑豊かで美しいまちなみの保全と創出に向けた取組が必要です。

予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	□地域自治組織のあり方について検討
福祉	□地域ケア会議の推進
防災	●【県】河川整備事業（武庫川・津門川）の促進 □防災力強化に向けた地域コミュニティの充実 □災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
道路	●都市計画道路山手幹線、武庫川広田線、甲子園段上線の整備推進 ●狭あい道路拡幅の推進
まちづくり	●都市基盤整備と一体となったまちづくりの検討・推進 ●阪急神戸本線と幹線道路の立体交差化の検討
交通	●阪急武庫川新駅設置の推進
公園	●公園整備の検討
産業	●都市農地の保全・活用策についての検討

甲東地域

KOTO



地域の現状

まちの状況

- ◆ 阪急甲東園駅周辺には商業施設が集積しています。
- ◆ 文教地区に指定されている上ヶ原地区や岡田山周辺には文教施設が多く立地し、低層主体の住宅地が広がっています。
- ◆ 段上地区には、近年、街区の整った住宅地が形成されていますが、農地も残っています。
- ◆ 上ヶ原地区には農地が残っています。
- ◆ 仁川周辺や上甲東園などには、石垣や生垣が特徴的な住宅地が形成されています。
- ◆ 河川敷遊歩道が続く武庫川や仁川は、まちなかの貴重なオープンスペースとなっています。

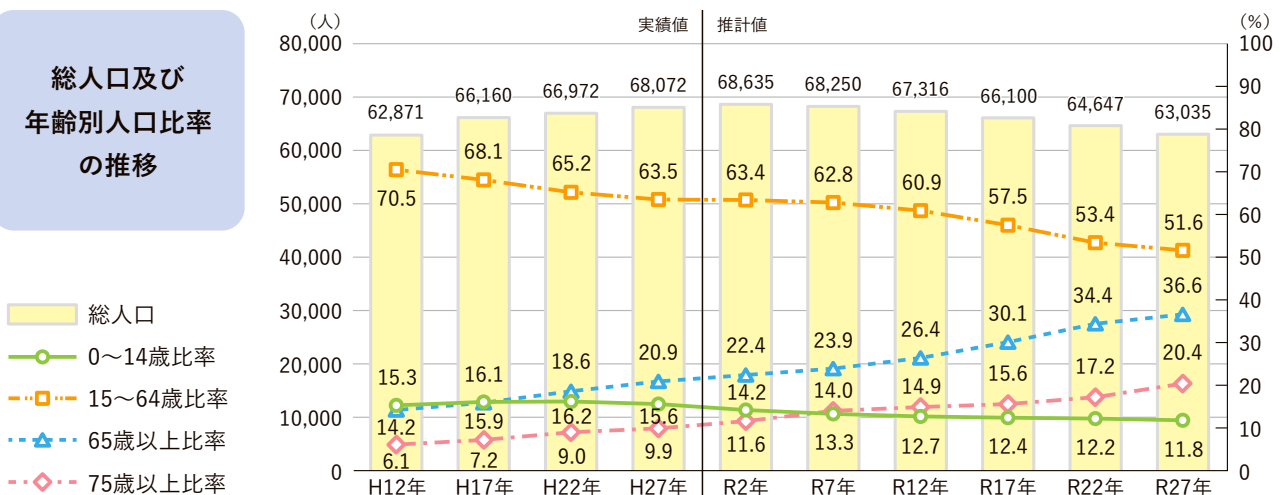
地域社会の現状

- ◆ 賃貸住宅の比率が5割程度となっています。
- ◆ 自治会加入率が低くなっています。
- ◆ 公共交通の利便性が低い地区があります。
- ◆ 狭あい道路の割合が高い地区があります。

人口の見通し

地域の人口は、令和7年頃までおおむね横ばいで推移し、その後は徐々に減少する見込みです。全市と比べて年少人口の割合が高く、高齢化率は全市より低く推移します。

総人口及び年齢別人口比率の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

- 河川（武庫川・津門川）の洪水の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- 土砂災害の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- 地域の骨格となる都市計画道路等を整備し、幹線道路のネットワークを形成することが必要です。
- 狭あい道路の割合が全市平均と比べて高く、改善が必要です。
- バス交通が不便な地域があり、対策が必要です。
- 都市基盤が弱い地区については、地域ニーズに沿った事業の検討や支援が必要です。

3 まちの魅力を高めるために

- 甲山を望む歴史ある緑豊かで美しいまちなみの保全が必要です。
- 甲山は里山として継続的な保全活動が必要です。
- 市内で比較すると公園が少なく、改善に向けた取組が必要です。
- 都市農地の適切な保全・活用が必要です。

予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	□地域自治組織のあり方について検討
福祉	□地域ケア会議の推進
防災	<ul style="list-style-type: none"> ●【県】河川整備事業（武庫川・津門川）の促進 ●【県】砂防事業、【県】治山事業の促進 □防災力強化に向けた地域コミュニティの充実 □災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
道路	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路今津西線、門戸仁川線の整備推進 ●狭あい道路拡幅の推進
まちづくり	●都市基盤整備と一体となったまちづくりの検討・推進
景観	●関西学院大学周辺における景観の保全と形成の検討
公園	●公園整備の検討
産業	●都市農地の保全・活用策についての検討
文化・芸術	●史跡「大坂城石垣石丁場跡 東六甲石丁場跡」等文化財の整備・活用

塩瀬地域

SHIOSE



地域の現状

まちの状況

- ◆ JR 西宮名塩駅周辺や国道 176 号沿いには、複数の住宅団地があります。
- ◆ 生瀬地区は宿場町としての歴史を持つ住宅地、名塩地区は旧集落の趣を残す住宅地となっています。
- ◆ 北摂山系、六甲山系の豊かな自然緑地が広がっています。
- ◆ 地域の東側に接する武庫川は美しい渓谷となっています。
- ◆ JR 福知山線廃線数は、鉄道遺構と武庫川沿いの自然を満喫できるハイキングコースとなっています。

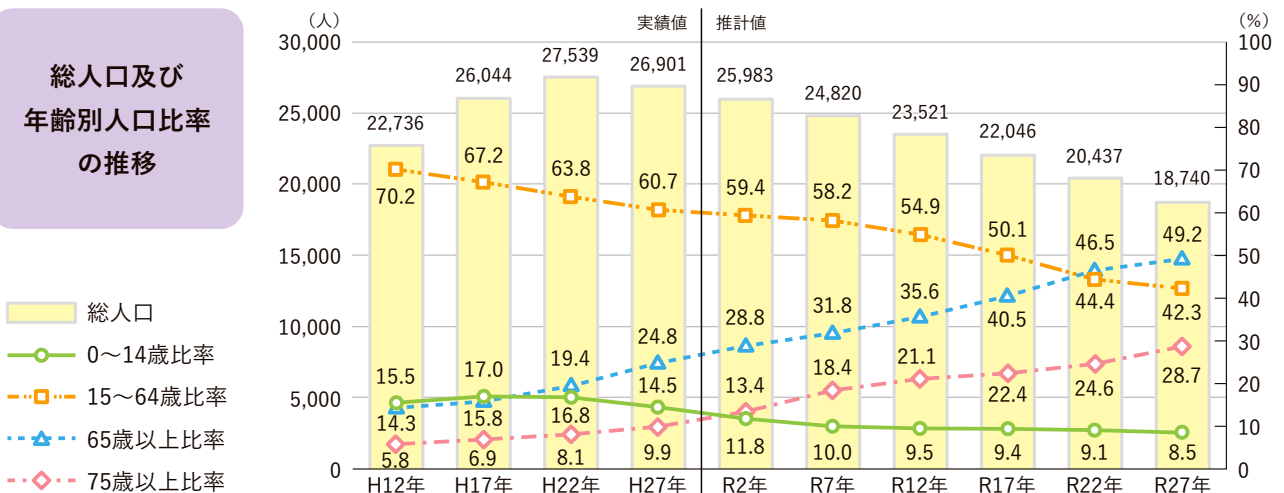
地域社会の現状

- ◆ 持ち家の比率が9割程度、戸建住宅の比率が7割程度となっています。
- ◆ 高齢者夫婦のみの世帯の比率が高くなっています。
- ◆ 公共交通の利便性が低い地区があります。
- ◆ 児童数が減少している地区があります。
- ◆ 全市と比べて空き家率が高くなっています。

人口の見通し

地域の人口は、今後、減少傾向が続く見込みです。年少人口及び生産年齢人口が減少し、高齢化率は全市より高く推移します。

総人口及び年齢別人口比率の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

1 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 生瀬地区に3歳児以上を受け入れる保育所がなく、その確保が必要です。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。
- 医療サービスの近隣都市との連携が必要です。

2 まちの基盤・防災対策等に関して

- 土砂災害の危険性がある地域や避難場所等が遠い地域があり、対策が必要です。
- 河川（武庫川）の洪水の危険性がある地域があり、対策が必要です。
- 国道176号など災害に強い道路整備が必要です。
- コミュニティ交通「ぐるっと生瀬」の運行継続が必要です。
- バス交通の不便な地域があり、対策が必要です。

3 まちの魅力を高めるために

- 田畑などの里地や水辺の環境は生物多様性上重要なため、保全に向けた取組が必要です。
- 空き家率が全市と比べて高く、有効活用に向けた取組が必要です。
- 美しい里山田園景観の保全や山の緑と調和したまちなみの保全・向上への取組が必要です。
- 伝統工芸品を活用した地域活性化策が必要です。

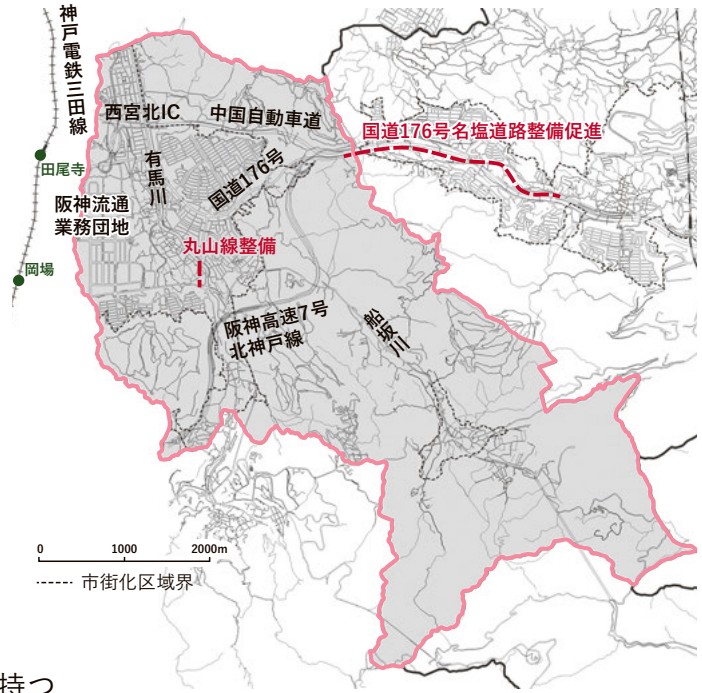
予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	□地域自治組織のあり方について検討
子育て	●保育所等の整備促進
福祉	□地域ケア会議の推進
医療	●圏域を越えた救急医療体制の構築等に向けた協議
防災	<ul style="list-style-type: none"> ●【県】砂防事業、【県】治山事業の促進 ●【県】河川整備事業（武庫川）の促進 □防災力強化に向けた地域コミュニティの充実 □災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
道路	<ul style="list-style-type: none"> ●【国】国道176号名塩道路の整備促進 ●【県】県道生瀬門戸荘線の整備促進 ●青峯連絡道の整備推進
交通	●生瀬地区コミュニティ交通の支援
空き家	●空き家バンク制度の活用推進
産業	●伝統工芸品など西宮産ブランド品の情報発信・育成支援

山口地域

YAMAGUCHI



地域の現状

まちの状況

- ◆ 上山口・下山口地区には旧集落の趣を持つ住宅地があります。また、北六甲台、すみれ台などの住宅団地があります。
- ◆ 船坂地区や中野地区には田畑が多く残っており、里山田園風景が広がっています。
- ◆ 国道176号などの幹線道路沿いには、沿道型の商業施設が集積しています。
- ◆ 阪神流通センターには、流通関係の産業が集積しています。
- ◆ 北摂山系、六甲山系の豊かな自然緑地が広がっています。

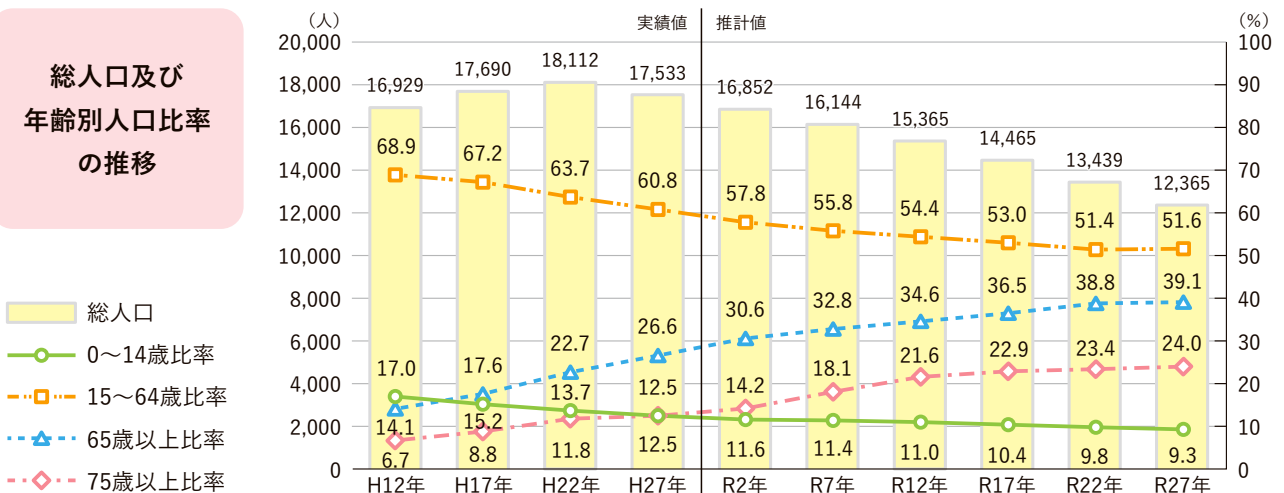
地域社会の現状

- ◆ 戸建住宅の比率が8割程度、持ち家の比率が7割程度となっています。
- ◆ 自治会加入率が低くなっています。
- ◆ 高齢者夫婦のみの世帯の比率が高くなっています。
- ◆ 全市と比べて空き家率が高くなっています。
- ◆ 地域に鉄道駅がないこともあり、バス交通の更なる充実を求める声が高まっています。

人口の見通し

地域の人口は、今後、減少傾向が続く見込みです。年少人口及び生産年齢人口が減少し、高齢化率は全市より高く推移します。

総人口及び年齢別人口比率の推移



地域の主な課題

□：各地域での共通課題 ●：当該地域での課題

① 安心して暮らすために

- 自治会・自主防災組織・社会教育団体等、各種団体での担い手・後継者不足の解消やコミュニティの希薄化に伴い低下している地域力向上に向け、各地域活動団体との連携・協働の強化が必要です。
- 少子高齢化や家族構成の変化などによる、多様化・複雑化する福祉課題への対応が必要です。
- 医療サービスの近隣都市との連携が必要です。

② まちの基盤・防災対策等に関して

- 土砂災害の危険性がある地域や避難場所等が遠い地域があり、対策が必要です。
- 一体的な道路ネットワークを形成するため、都市計画道路を整備する必要があります。
- 地域の活性化と利便性の向上を図るため、都市計画道路の整備と併せた周辺のまちづくりの検討が必要です。
- バス交通の更なる充実に向けた取組が必要です。
- 住環境の維持に向けた地域主体のまちづくりが必要です。(船坂地区)

③ まちの魅力を高めるために

- 美しい里山田園景観の保全や山の緑と調和したまちなみの保全・向上への取組が必要です。
- 田畑などの里地や水辺の環境は生物多様性上重要なため、保全に向けた取組が必要です。
- 空き家率が全市と比べて高く、有効活用に向けた取組が必要です。

予定している主な取組

□：各地域での共通の取組 ●：当該地域での取組

コミュニティ	□地域自治組織のあり方について検討
福祉	□地域ケア会議の推進
医療	●圏域を越えた救急医療体制の構築等に向けた協議
防災	●【国・県】砂防事業、【県】治山事業の促進 □防災力強化に向けた地域コミュニティの充実 □災害弱者を対象とした避難支援体制の確立
道路	●【国】国道176号名塩道路の整備促進 ●都市計画道路丸山線の整備推進
交通	●さくらやまなみバスの利用促進
まちづくり	●都市計画道路丸山線整備と一体的なまちづくりの検討
空き家	●空き家バンク制度の活用推進

第5次西宮市総合計画
地域別アウトライン

発行年月：令和元(2019)年11月

発行：兵庫県 西宮市

編集：政策局政策総括室政策推進課

〒662-8567 兵庫県西宮市六湛寺町10番3号

TEL:0798-35-3151(代表)

<https://www.nishi.or.jp>

デザイン・印刷：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

この冊子は2,500部作成し、
1部当たりの印刷代は308円です。

